

科学技術情報発信・流通総合システム
J-STAGE

全文 XML 作成ツール
利用者向け
操作マニュアル

第 2 . 2 版

2026/06/01

国立研究開発法人 科学技術振興機構

内容

はじめに	6
この資料について	6
全文 XML とは	6
全文 XML 作成ツール概要	7
作業フロー	7
1.1.1. 原稿ファイル形式について	9
1.1.2. LaTeX における zip ファイル形式について	10
1.1.3. zip 形式を用いた複数の原稿の一括変換について	11
テンプレートファイルについて	12
1.2.1. Word におけるルール設定	13
1.2.2. LaTeX におけるルール設定	14
1.2.3. タグ変換仕様	14
ご利用にあたっての注意事項	15
1.3.1. 動作確認環境	15
1.3.2. ローカル設定	15
1.3.3. 情報の保持単位・期間	15
1.3.4. 変換精度について	16
作業説明	17
利用開始・終了	17
2.1.1. 利用開始	17
2.1.2. 利用終了	19
原稿変換	20
2.2.1. 原稿	21
2.2.2. Word 原稿 スタイル設定	22
2.2.3. 巻・号・ページ	24
2.2.4. 日付	25
2.2.5. 識別子	26
2.2.6. 著作権	27
2.2.7. ライセンス	28
2.2.8. 記事一覧(上部ボタン)	29
XML 修正	31
2.3.1. 書誌事項編集 (全体)	33
2.3.2. 書誌事項編集-基本情報タブ:記事	34
2.3.3. 書誌事項編集-基本情報タブ:標題	34
2.3.4. 書誌事項編集-基本情報タブ:ページ	36

2.3.5. 書誌事項編集-基本情報タブ:日付.....	37
2.3.6. 書誌事項編集-基本情報タブ:抄録.....	38
2.3.7. 書誌事項編集-基本情報タブ:著作権.....	41
2.3.8. 書誌事項編集-基本情報タブ:ライセンス.....	42
2.3.9. 書誌事項編集-基本情報タブ:謝辞.....	43
2.3.10. 書誌事項編集-基本情報タブ:会議情報.....	43
2.3.11. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者.....	44
2.3.12. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者所属モーダル.....	45
2.3.13. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:所属機関.....	47
2.3.14. 書誌事項編集-キーワードタブ:キーワード.....	48
2.3.15. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献.....	49
2.3.16. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献モーダル.....	50
2.3.17. 書誌事項編集-ファンド情報タブ:ファンド情報.....	51
2.3.18. 書誌事項編集-関連文献タブ:関連文献.....	52
2.3.19. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献モーダル.....	53
2.3.20. 書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリ.....	54
2.3.21. 書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリモーダル.....	55
2.3.22. 書誌事項編集-成果情報タブ:成果情報.....	56
2.3.23. 書誌事項編集-成果情報タブ:成果情報モーダル.....	56
2.3.24. 書誌事項編集-電子付録タブ:電子付録.....	57
2.3.25. XML 編集（全体）.....	58
2.3.26. XML エディタ.....	59
2.3.27. コンソール.....	63
2.3.28. ナビ.....	64
2.3.29. 本文動画・画像、電子付録.....	66
2.3.30. 外字追加.....	68
2.3.31. 画像追加.....	69
2.3.32. 補足（PDF 切取について）.....	71
2.3.33. 補足（全文 PDF、全文テキスト登録機能について）.....	72
2.3.34. 補足（インポートについて）.....	73
エクスポート.....	74
3.1.1. 編集登載形式での出力.....	74
登載.....	75
4.1.1. PDF および全文テキストファイルの準備.....	75
4.1.2. 一括アップロード.....	75
参考資料.....	75

変更履歴

#	版	日付	区分	変更内容	変更箇所
1	1.0	2020/9/14	新規	初版作成	
2	1.1	2022/3/26	更新	全文 XML 拡張に伴い機能追加、改修があった機能の更新	資料全体
3	1.2	2023/04/29	更新	J-STAGE 機能改善に係る改修で、著者に複数筆頭/最終著者の設定を可能にするための画面レイアウト変更に伴い画像を差し替え、筆頭/最終著者の追記	2.3.12. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者所属モータル
4	1.3	2023/08/31	更新	原稿変換で早期公開を指定した場合の記載を修正	2.2.3. 巻・号・ページ
5	1.4	2023/09/26	更新	項番の誤りを修正	資料全体
6	1.5	2024/05/10	更新	Word 版テンプレートファイルの更新による修正	表 2-4 テンプレートファイル
7	1.6	2025/06/11	更新	動作確認を行った OS、時期を修正	表 2-6 動作確認環境
8	1.7	2025/07/11	更新	原稿変換に失敗した場合の記載を追記	2.2.8 記事一覧(上部ボタン)
9	1.8	2025/09/24	更新	画像ファイルの差し替え body 部がない場合の出力について追記	3.1.1. 編集登載形式での出力
10	1.9	2025/10/25	更新	修飾タグに関する注意事項を追記	2.3.1. 書誌事項編集 (全体)
11	2.0	2026/03/26	更新	サービス高度化に係る改修で以下を修正 言語切替プルダウンを追記 書誌事項編集のタイトルと抄録を修正 外字追加と画像追加を追記	2.1.1.利用開始 2.3.3.書誌事項編集-基本情報タブ:タイトル 2.3.6.書誌事項編集-基本情報タブ:抄録 2.3.30.外字追加 2.3.31.画像追加

12	2.1	2026/03/26	更新	グループ化した画像の取り込み方法を追記	1.3.4.変換精度について
13	2.2	2026/06/01	更新	原稿変換時のフォントに関する注意事項を追記	1.3.4.変換精度について

はじめに

この資料について

この資料は、全文 XML 作成ツールの操作マニュアルです。

全文 XML 作成ツールは、Word、LaTeX 形式の原稿ファイルを JATS1.1 形式の XML ファイルに変換するツールです。本操作マニュアルで、全文 XML 作成ツールを利用した原稿の変換方法、変換後の XML の修正方法、編集掲載へのアップロード方法について説明します。

全文 XML とは

タイトル、著者、所属、引用等のメタ情報に加え、本文の情報を保持する XML ファイルです。全文 XML を作成することにより、本文情報を持つ HTML（以下、全文 HTML）を J-STAGE に公開することができます。

全文 HTML のメリットについては、以下の資料を参照ください。

別紙「[全文 XML 作成手順書](#)」

全文 XML 作成ツール概要

本章では、おおまかな作業フローについて説明した後、変換できる原稿ファイルの形式、注意事項について説明します。

作業フロー

原稿ファイルを全文 XML 形式に変換する作業フローを説明します。

下図に作業フロー全体を示します。



図 2-1 作業フロー

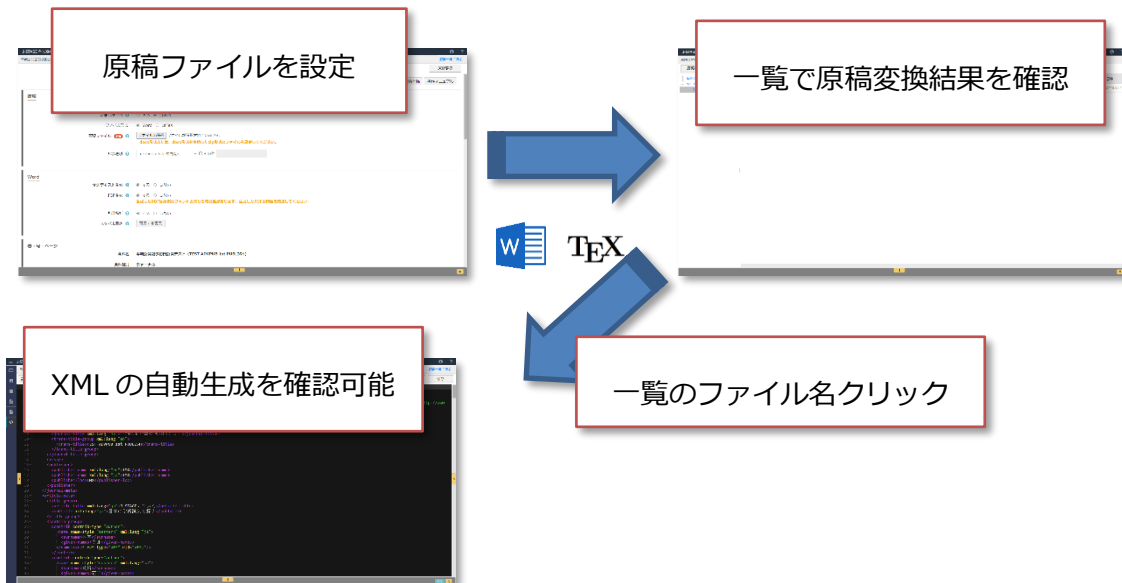
各作業の概要を下表に示します。

表 2-1 作業概要

利用開始・終了	全文 XML 作成ツールの利用を開始します。
編集掲載メニューから起動	
編集掲載メニュー	
雑誌作成管理	資料の巻・号の作成や編集、表示形式を設定します
記事作成管理	記事・セクションの作成、記事編集、公開日や起程を設定します
記事一括アップロード	登録データ(XML、PDF等)をアップロードします
記事訂正・撤回等	記事訂正・撤回等、関連記事同士の相互リンクを設定します
全文XML作成	Word、LaTeXの原稿を全文XML形式に変換します。

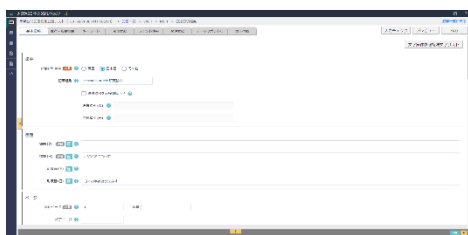
原稿変換

原稿ファイルを JATS 1.1 形式の全文 XML に自動変換します。



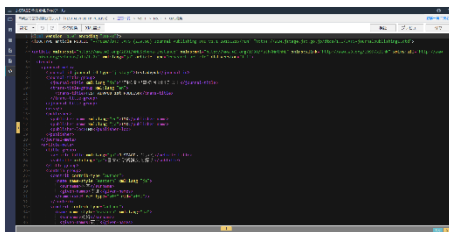
XML 修正

変換された全文 XML を各 XML 編集機能を使って修正します



XML 編集機能：書誌事項編集

書誌事項編集	GUI を使用して各要素ごとに編集します。
XML 検証	J-STAGE に登載可能かを検証します。
公開プレビュー	公開画面での表示をプレビューします。

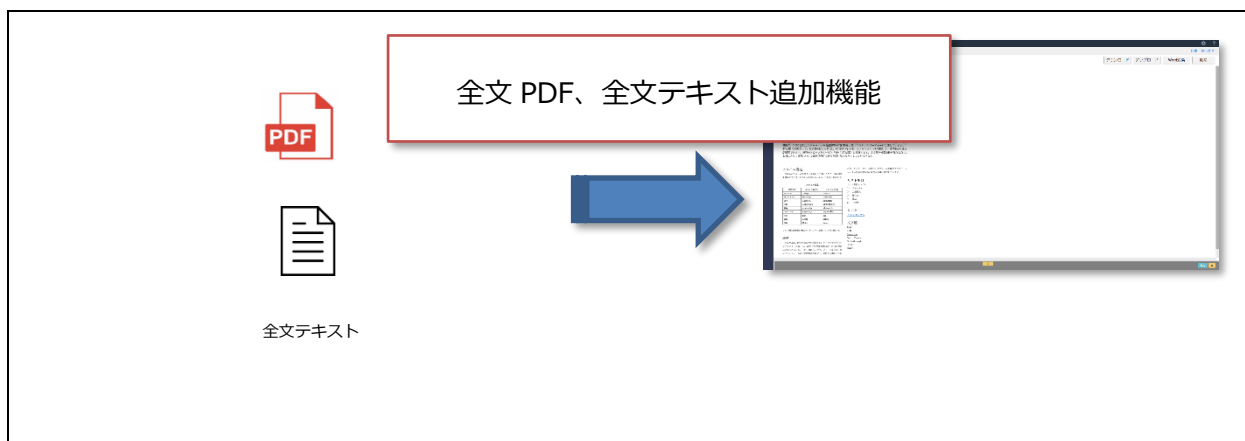


XML 編集機能：全文 XML 編集

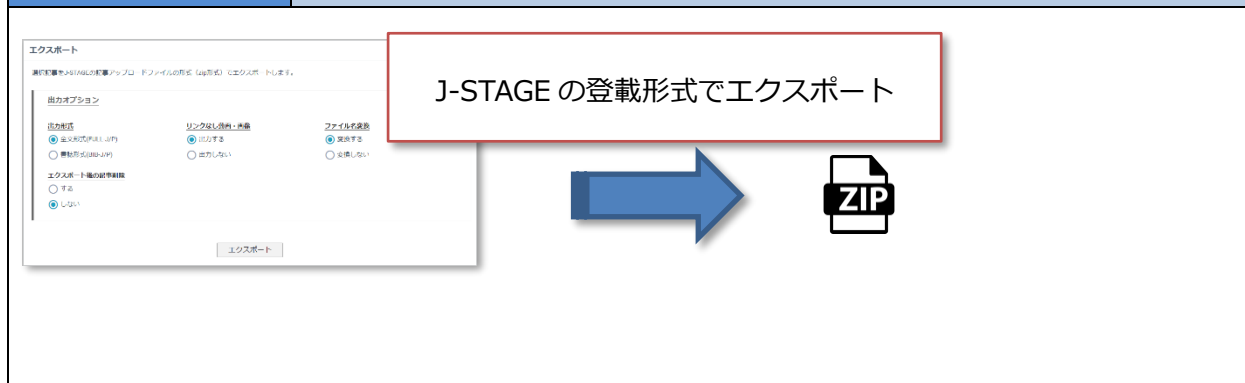
XML 整形	XML をフォーマットします。
XML 検証	J-STAGE に登載可能かを検証します。
公開プレビュー	公開画面での表示をプレビューします。
画像・動画管理	画像・動画を追加・削除します。

テキスト・PDF 追加

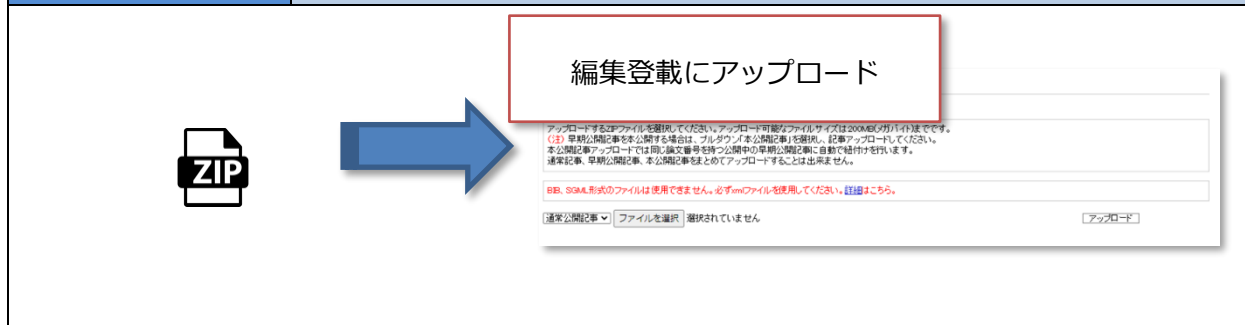
全文テキスト、PDF を各追加機能を使って追加します。



エクスポート 修正した全文 XML を J-STAGE に登録形式でエクスポートします。



登録 編集登録システムへアップロードします。(※1)



(※1) 「作業項目⑤の中の編集登録システムへのアップロード」については、J-STAGE マニュアル「[J-STAGE 操作マニュアル 編集登録編](#)」をご覧ください。

1.1.1. 原稿ファイル形式について

全文 XML 作成ツールは、Word、LaTeX 形式の原稿ファイルを指定すると、JATS1.1 形式の XML を自動生成するツールですが、変換できる原稿ファイルは、下表の要件を満たす必要があります。

表 2-2 変換できる原稿ファイル

原稿	観点	説明
Word	拡張子	docx
	形式	docx 形式が対象。 ※doc 形式、dot 形式、docm 形式は対象外

	動画像	jpg、png、gif 形式
	ファイルサイズ	最大 100MB まで
	セキュリティ設定	パスワードが未設定であること
LaTeX	拡張子	tex または zip
	形式	UTF-8 で記述された tex が対象。画像、bib ファイル等を含む場合は、zip 形式にアーカイブする。
	動画像	jpg、png、gif、mp4 形式
	ファイルサイズ	最大 100MB まで（ファイル数は最大 200 ファイルまで）
	セキュリティ設定	パスワードが未設定であること

1.1.2. LaTeX における zip ファイル形式について

LaTeX 原稿を変換する場合、zip 形式に画像、bib ファイル等を格納頂く必要があります。
(tex そのものを設定することも可能ですが、画像や bib ファイル等が取り込めません)

表 2-3 zip ファイル形式

#	項目	説明
1	アーカイブ形式	zip 形式
2	ファイル拡張子	.zip
3	セキュリティ設定	パスワードが未設定で、展開可能なこと
4	原稿ファイル	tex ファイル <u>1 ファイルのみ</u> で構成とし、配置位置は任意
5	引用ファイル	bib ファイル（複数可）で構成し、配置位置は任意 拡張子が.bib であること、UTF-8 で定義されていることが条件
6	本文画像・動画	配置位置は任意。（Suppl を除く）ただし、同一ファイル名のファイルが別フォルダに複数格納されている場合は、上書きされる。
7	電子付録	配置位置は「Suppl」 <u>フォルダ直下</u> 「Suppl」フォルダの配置位置は任意。 「Suppl」フォルダが複数存在し、同一ファイル名のファイルが格納されている場合は、上書きされる。

例)

sample.zip

/sample/article.tex

/sample/citation.bib

/sample/media/Suppl/a.mp4

/sample/media/Suppl/b.tex



	種別	取得ファイル
	原稿ファイル	article.tex
	引用ファイル	citaion.bib
/sample/media/b.gif	本文画像・動画	b.gif
/sample/media/c.svg	電子付録	a.mp4、 b.tex

1.1.3. zip 形式を用いた複数の原稿の一括変換について

LaTeX 原稿, Word 原稿ともに、zip 形式で複数の原稿を格納したうえで、原稿変換画面で変換方法にて「一括」を選択すると、複数の原稿を一度に原稿変換することができます。

※論文番号、ページ情報、識別子情報は入力できませんので、原稿変換後の編集画面で入力していただく必要があります。

LaTeX 格納例)

```
SAMPLES.zip
  /SAMPLES
    /Sample1
      Sample1.docx
      citation.bib
      /media/Suppl/a.mp4
      /media/Suppl/b.tex
      /media/b.gif
      /media/c.svg
    /Sample2
      article.tex
      citation.bib
      /media/Suppl/a.mp4
      /media/Suppl/b.tex
      /media/b.gif
      /media/c.svg
```

Word 格納例)

```
SAMPLES.zip
  /SAMPLES
    /Sample1
      aaa.docx
    /Sample2
      bbb.docx
```

テンプレートファイルについて

Word、LaTeX の原稿ファイルを指定して変換処理を行います。JST が事前に用意したテンプレートファイルをご利用頂くことで、タイトル、著者・所属、引用文献といった書誌事項を抽出することが可能です。

JST が用意したテンプレートファイルについては、以下より取得してください。

表 2-4 テンプレートファイル

項目	値																
取得元	こちら よりダウンロードしてください。																
ファイル構成	<p>テンプレートファイル(Word 版)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">StyleSettingTemplate.zip</td> </tr> <tr> <td>StyleSettingTemplate.docx</td> <td>Word 原稿用テンプレート (日英共通)</td> </tr> </table> <p>サンプルファイル(Word 版)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">documentToJats_sample_word.zip</td> </tr> <tr> <td>Sample_en.docx</td> <td>Word 原稿用サンプル (英)</td> </tr> <tr> <td>Sample_ja.docx</td> <td>Word 原稿用サンプル (日)</td> </tr> </table> <p>テンプレートファイル(LaTeX 版)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">documentToJats_template_latex.zip</td> </tr> <tr> <td>template_en.zip</td> <td>LaTeX 原稿用テンプレート (英)</td> </tr> <tr> <td>template_ja.zip</td> <td>LaTeX 原稿用テンプレート (日)</td> </tr> </table>	StyleSettingTemplate.zip		StyleSettingTemplate.docx	Word 原稿用テンプレート (日英共通)	documentToJats_sample_word.zip		Sample_en.docx	Word 原稿用サンプル (英)	Sample_ja.docx	Word 原稿用サンプル (日)	documentToJats_template_latex.zip		template_en.zip	LaTeX 原稿用テンプレート (英)	template_ja.zip	LaTeX 原稿用テンプレート (日)
StyleSettingTemplate.zip																	
StyleSettingTemplate.docx	Word 原稿用テンプレート (日英共通)																
documentToJats_sample_word.zip																	
Sample_en.docx	Word 原稿用サンプル (英)																
Sample_ja.docx	Word 原稿用サンプル (日)																
documentToJats_template_latex.zip																	
template_en.zip	LaTeX 原稿用テンプレート (英)																
template_ja.zip	LaTeX 原稿用テンプレート (日)																

また、テンプレートファイルを利用しなくても、特定のルール設定を原稿ファイルに設定頂くことでも書誌事項の抽出は可能です。

なお、すべての書誌事項を抽出するものではありません。

決められた書誌事項項目以外の項目については、本文 (body 部) に変換されます。

1.2.1. Word におけるルール設定

Microsoft Word の「スタイル」設定を読み取ります。

① **原稿ファイルに規定のスタイル設定が未設定の場合、書誌情報は抽出されません。**

初期設定では、下表のスタイル名で書誌事項を抽出しますが、原稿変換画面から別名のスタイルに変更可能です。

表 2-5 書誌事項抽出スタイル名

#	書誌事項	スタイル名
1	タイトル (英語)	TitleEn
2	タイトル (日本語)	TitleJa
3	サブタイトル (英語)	SubtitleEn
4	サブタイトル (日本語)	SubtitleJa
5	著者 (英語)	AuthorEn
6	著者 (日本語)	AuthorJa
7	所属 (英語)	AffiliationEn
8	所属 (日本語)	AffiliationJa
9	キーワード (英語)	KeywordEn
10	キーワード (日本語)	KeywordJa
11	抄録 (英語)	AbstractEn
12	抄録 (日本語)	AbstractJa
13	謝辞 (英語)	AckEn
14	謝辞 (日本語)	AckJa
15	注釈	Notes
16	引用	Bib

抽出対象となっていない書誌事項およびスタイル設定されていない書誌事項は、本文 (body 部) に変換されます。

1.2.2. LaTeXにおけるルール設定

LaTeX のコマンド名、環境名を読み取ります。ただし、引用については、LaTeX 原稿から参照されている bib ファイルの内容を抽出します。抽出するコマンド名・環境名を下表に示します。

表 2-6 書誌事項抽出コマンド名・環境名

#	書誌事項	コマンド名・環境名・bib ファイル
1	タイトル	¥title
2	サブタイトル	¥subtitle
3	著者	¥author
4	所属	¥author 中の¥thanks
5	抄録	abstract 環境
6	引用	LaTeX 原稿から参照されている bib ファイル

抽出対象となっていない書誌事項およびコマンド名・環境名・bib ファイルの設定されていない書誌事項は、本文（body 部）に変換されます。

1.2.3. タグ変換仕様

Word、LaTeX 原稿をどのように JATS タグに変換するかを以下の別紙資料に記載しています。

別紙「[J-STAGE 全文 XML 作成ツールタグ変換仕様](#)」

ご利用にあたっての注意事項

1.3.1. 動作確認環境

全文 XML 作成ツールは、以下の環境で正常に動作することを確認しております。

表 2-6 動作確認環境

OS / ブラウザ	Chorme	FireFox	Safari	Edge
Windows 11	○	○	-	○
MacOS X	-	-	○	-

※iPhone、iPad、Android 等のモバイル端末、Wondows の IE 11 は動作対象外です。

※各ブラウザは、2025 年 3 月時点の最新版で確認しています。

1.3.2. ローカル設定

全文 XML 作成ツールは、Cookie、LocalStrage を利用します。

また JavaScript が実行できる環境で動作します。

(JavaScript が OFF の場合、動作しません)

1.3.3. 情報の保持単位・期間

全文 XML 作成ツールは、資料毎、ユーザ毎に情報を保持します。

一定期間更新のない記事については、事前周知の上、削除する可能性があります。

1.3.4. 変換精度について

原稿変換機能は、Word または LaTeX 原稿を JATS XML1.1 形式に自動変換します。変換後、そのまま J-STAGE に登載できるわけではなく、後述の「XML 検証」や「プレビュー」機能で確認のうえ、「XML 編集」機能で XML を編集頂いたのちに、登載してください。

下表に、原稿変換に関して、特にご注意いただきたい点を記載します。

表：原稿変換における注意点

#	カテゴリ	説明
1	全般	原稿変換後にそのまま J-STAGE に登載できるわけではありません。システムが機械的に変換した JATS XML を後述の「XML 検証機能」、「プレビュー機能」を用いて確認のうえ、「XML 編集機能」で修正し、登載するようにお願いします。
2	数式	Word は MathML 形式に変換します。TeXMath 形式ではないので、ご注意ください。 LaTeX は MathML, TeXMath 形式を、原稿変換時に選択可能です。 Word の数式エディターで太字と斜体を適用し原稿変換した場合、太字のみ反映されるので、ご注意ください。
3	リスト	番号付きリスト項目は、正しく変換できないケースがあります。 変換後、確認するようにお願いします。
4	リンク設定	本文中の文章から画像、引用文献等へのリンク設定が正しく変換できないケースがあります。プレビュー等の機能を利用して確認するようにお願いします。
5	引用情報の解析	「引用解析」を「あり」に設定した場合、引用原文を JATS のタグに変換します。 意図通りに変換できない場合や、原文のままとしたい場合は、「引用解析」を「なし」に設定してください。
6	グループ化した画像	Word には画像をグルーピングする機能がありますが、この機能でグルーピングした画像は、正しく変換できませんので、事前に以下の対応を実施してください。 Word 原稿を編集し、グループ化した画像を「切り取り」→「形式を選択した貼り付け」で図 (PNG) への変換を行い、画像として挿入してから原稿変換するようにお願いします。
7	LaTeX	LaTeX を用いて原稿変換を行う場合、以下例のように「%」以降に文字を記載すると、コメントと判断され解析に失敗する場合がありますのでご注意ください。 例) $\hbox{\%}\begin{minipage}[t]{\%}$

作業説明

この章では、全文 XML 作成ツールを利用して、JATS XML 形式の XML を生成し、編集登載にアップロードするまでの作業を「2.1 作業フロー」に沿って説明します。

利用開始・終了

Word または LaTeX 原稿を JATS XML に変換する機能の説明を行います。

2.1.1. 利用開始

編集登載のメニューから利用できます。

利用にあたっては、全文 XML 作成対象のジャーナルを指定する必要があります。

下図に、全文 XML 作成ツールを利用するまでの編集登載画面のフローについて説明します。

認証IDをお持ちの方

認証ID

パスワード

[パスワードを忘れた場合](#)

ログイン

1

「編集登載」にログイン

J-STAGE XML登載サービストップ

サービス管理	公開する資料の各種設定はこちら
編集登載	公開する記事の登載および編集はこちら
サービス切替	XML登載サービスとWeb登載サービスを切り替えます

【注意】

XML 登載サービスのメニューに表示されます。
(WEB 登載サービスではありません)

2

XML 登載メニューから「編集登載」を選択

トップ	巻号作成・管理	記事作成・管理	記事一括アップロード	記事リンク設定	全文XML作成
---------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------

編集・登録 学協会メニュー

巻号作成・管理	資料の巻・号の作成や編集、表示形式を設定します
記事作成・管理	記事・セクションの作成、記事編集、公開日や認証を設定します
記事一括アップロード	登録データ(XML、PDF等)をアップロードします
記事リンク設定	記事訂正・撤回等、関連記事同士の相互リンクを設定します
全文XML作成	Word、LaTeXの原稿を全文XML形式に変換します。

3 全文 XML 作成メニューを選択

トップ	巻号作成・管理	記事作成・管理	記事一括アップロード	記事リンク設定	全文XML作成
---------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------	-------------------------

1-1 of 1 1

資料コード	資料名	学協会名	公開状態	資料種別	編集
sample	Sample Journal サンプルジャーナル	Sample Society of Japan 社団法人 サンプル学会	公開	ジャーナル	

4 鉛筆アイコンをクリックすると、別タブで全文 XML 作成ツールが起動

[トップへ戻る](#)

J-STAGE 全文XML作成ツール

5 共通ヘッダーから表示する言語(日本語/英語)を変更できます

日本語/Japanese

日本語/Japanese

英語/English

データがありません。

全文 XML 作成ツールの利用開始

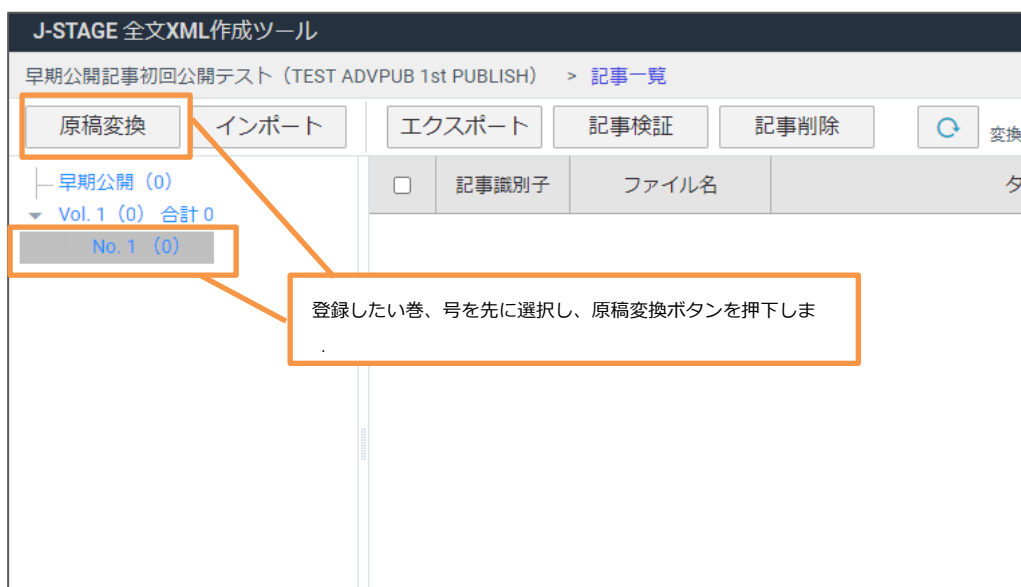
2.1.2. 利用終了

全文 XML 作成ツールのメニュー右上からログアウトを押下することで全文 XML 作成ツールの利用を終了します。なお、終了しても編集登載側は、引き続き、利用可能です。



原稿変換

登録したい巻、号を画面左で選択した後画面左上の「原稿変換」を選択します。



原稿変換画面で入力する入力値についてパート別に説明します。

2.2.1. 原稿

原稿		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>原稿</p> <p>変換方法 ? <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="radio"/> 一括</p> <p>記事記述言語 ? <input type="radio"/> 英語 <input checked="" type="radio"/> 日本語</p> <p>ファイル形式 <input checked="" type="radio"/> Word <input type="radio"/> LaTeX</p> <p>原稿ファイル 必須 ? ファイルの選択 ファイルが選択されていません docx形式または、docx形式を格納したzip形式のファイルを設定してください。</p> <p>記事種別 ? research-article 研究論文 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> </div>		
1	変換方法	一度に変換する原稿の数を指定します。1つだけ変換する場合は「個別」を、2つ以上変換する場合は「一括」を選択してください。 「一括」の場合、論文番号、ページ情報、識別子情報は入力できませんので、原稿変換後の各原稿の編集画面でそれぞれ入力していただく必要があります。
2	記事記述言語	記事の記述言語を英語、日本語から選択します。 英語、日本語以外の言語の場合は、「英語」を選択してください。 初期選択は、資料の記事記述言語が設定されます。 また1度原稿変換すると、前回選択した値が保持されます。
3	ファイル形式	原稿ファイルが Word か LaTeX かを指定してください。 1度原稿変換すると、前回選択した値が保持されます。
4	原稿ファイル	原稿ファイルを設定してください。 設定できる原稿ファイルは、以下の通りです。 変換方法：個別 Word の場合：拡張子が docx となっているファイル LaTeX の場合：拡張子が tex または zip となっているファイル 変換方法：一括 拡張子が zip となっているファイル
5	記事種別	原稿ファイルの記事種別を設定します。 セレクトメニューから選択してください。テキストで入力する場合は、「その他」にチェックをつけてください。入力欄が活性化しますので、入力欄にテキストで記事種別を入力をしてください。 1度原稿変換すると、前回入力値が保持されます。

2.2.2. Word 原稿 スタイル設定

Word 原稿 スタイル設定

Word

全文テキスト生成 する しない

PDF生成 する しない
生成したPDFは原稿のフォントと異なる可能性があります。生成したPDFの内容を確認してください。

引用解析 する しない

スタイル設定 表示・非表示

記事タイトル (英)

記事タイトル (日)

記事サブタイトル (英)

記事サブタイトル (日)

著者 (英)

著者 (日)

所属 (英)

所属 (日)

キーワード (英)

キーワード (日)

抄録 (英)

抄録 (日)

謝辞 (英)

謝辞 (日)

注釈

引用

書誌情報を Word 原稿から抽出する際に、Word の機能である「スタイル」設定を読み取ります。あらかじめ決められたスタイル名で読み取りますが、別名のスタイル名を設定することが可能です。別名のスタイル名は、1 度原稿変換すると、前回入力値が保持されます。

1	全文テキスト生成	原稿変換するファイルを基に全文テキストデータを生成するかを指定します。
2	全文 PDF 生成	原稿変換するファイルを基に全文 PDF データを生成するかを指定します。
3	引用解析	引用を解析するかどうかを指定します。 「する」を選択すると、引用文を解析し、タグ化します。 「しない」を選択すると、引用文を解析せず、平文で出力します。 (<back><ref-list><ref><mixed-citation>下を解析してタグ化するか、平文のまま出すかを指定します。)
4	スタイル設定	押下すると以下のスタイル名設定用の項目の表示・非表示が変更できます。

5	記事タイトル (英) 記事タイトル (日)	記事タイトルを抽出するためのスタイル名を設定します。
6	記事サブタイトル (英) 記事サブタイトル (日)	記事サブタイトルを抽出するためのスタイル名を設定します。
7	著者 (英) 著者 (日)	著者を抽出するためのスタイル名を設定します。
8	所属 (英) 所属 (日)	所属を抽出するためのスタイル名を設定します。
9	キーワード (英) キーワード (日)	キーワードを抽出するためのスタイル名を設定します。
10	抄録 (英) 抄録 (日)	抄録を抽出するためのスタイル名を設定します。
11	謝辞 (英) 謝辞 (日)	謝辞を抽出するためのスタイル名を設定します。
12	注釈	注釈を抽出するためのスタイル名を設定します。
13	引用	引用を抽出するためのスタイル名を設定します。

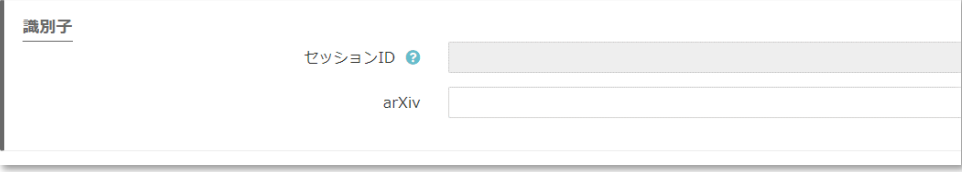
2.2.3. 巻・号・ページ

巻・号・ページ		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><u>巻・号・ページ</u></p> <p>資料名 早期公開記事初回公開テスト (TEST ADVPUB 1st PUBLISH)</p> <p>資料種別 ジャーナル</p> <p>早期公開 <input type="checkbox"/></p> <p>論文番号 必須 <input type="text"/></p> <p>巻 必須 <input type="text" value="1"/></p> <p>号 必須 <input type="text" value="1"/></p> <p>開始ページ 必須 <input type="text" value="開始ページ"/></p> <p>連番 <input type="text" value="連番"/></p> <p>終了ページ <input type="text" value="終了ページ"/></p> <p>査読有無 必須 ? <input type="radio"/> 査読あり <input type="radio"/> 査読なし</p> </div>		
1	資料名	編集登載で選択した資料名が表示されます。 資料を変更する場合、編集登載メニューに戻って、資料を選択してください。
2	資料種別	編集登載で選択した資料の資料種別を表示します。 例) ジャーナル、会議論文など
3	早期公開	早期公開記事として、原稿変換する場合にチェックします。 ※早期公開にチェックすると、巻号選択が選択不可になります。
4	論文番号	論文番号を入力します。 早期公開にチェックした場合は、必須入力項目です。
5	巻・号	編集登載側で作成した巻がリストに表示されますので、該当巻を選択します。巻が選択されると対応する号がリスト表示されます。
6	開始ページ 連番 終了ページ	論文番号、連番、終了ページを入力します。 連番、終了ページを入力した場合は、開始ページは必須入力です。
7	査読有無	査読有無を選択します。査読ありの場合、「最終査読日(approved)」が表示されますので、該当日付を入力してください。 ※査読有にすると、J-STAGE の検索条件「査読あり」による検索が可能になります。

2.2.4. 日付

日付		
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>日付</p> <p>発行日/発行年 必須 <input type="text" value="発行日"/> ≡</p> <p>オンライン公開日 ? <input type="text" value="オンライン公開日"/> ≡</p> <p>受付日(received) <input type="text" value="受付日(received)"/> ≡</p> <p>改訂稿受付日(rev-recd) <input type="text" value="改訂稿受付日(rev-recd)"/> ≡</p> <p>受理日(accepted) <input type="text" value="受理日(accepted)"/> ≡</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>または <input type="text" value="発行年"/> ≡</p> </div> </div> </div>		
1	発行日 発行年	記事が発行された日付を設定します。 日付が特定できない場合に限り、発行年を設定します。 両方設定された場合は、発行日が優先されます。
2	オンライン公開日	記事が J-STAGE 以外でオンライン公開された日付を設定します。 J-STAGE 以外で公開していない場合は設定する必要はありません。
3	受付日	記事の投稿を受け付けた日付を設定します。
4	改訂稿受付日	記事が最後に修正された日付を設定します。 公開画面では、改訂日として表示されます。
5	受理日	記事を受理した日付を設定します。

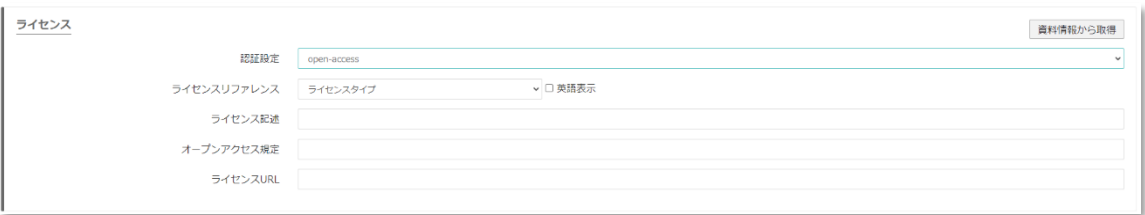
2.2.5. 識別子

識別子		
		
1	セッション ID	対象資料が会議論文・要旨集の場合のみ入力できます。 記事のセッション ID を設定します。
2	arXiv	記事の arXivID を設定します。

2.2.6. 著作権

著作権		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 著作権 資料情報から取得 </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>著作権表示(英) <input type="text" value="例：Copyright © 2008, Japan Science and Technology Agency"/></p> <p>著作権表示(日) <input type="text" value="例：Copyright © 2008, 科学技術振興機構"/></p> <p>保持者(英) <input type="text" value="例：Japan Science and Technology Agency"/></p> <p>保持者(日) <input type="text" value="例：科学技術振興機構"/></p> </div> </div>		
1	著作権表示（英） 著作権表示（日）	記事の著作権を設定します。
2	保持者（英） 保持者（日）	著作権を保持する団体・個人を設定します。
3	資料情報から取得	資料情報に設定されている著作権表示（英）（日）をロードし、入力欄に補完します。資料情報に著作権情報が未登録の場合、入力補完は行われません。また保持者（英）（日）の入力補完は行われません。

2.2.7. ライセンス

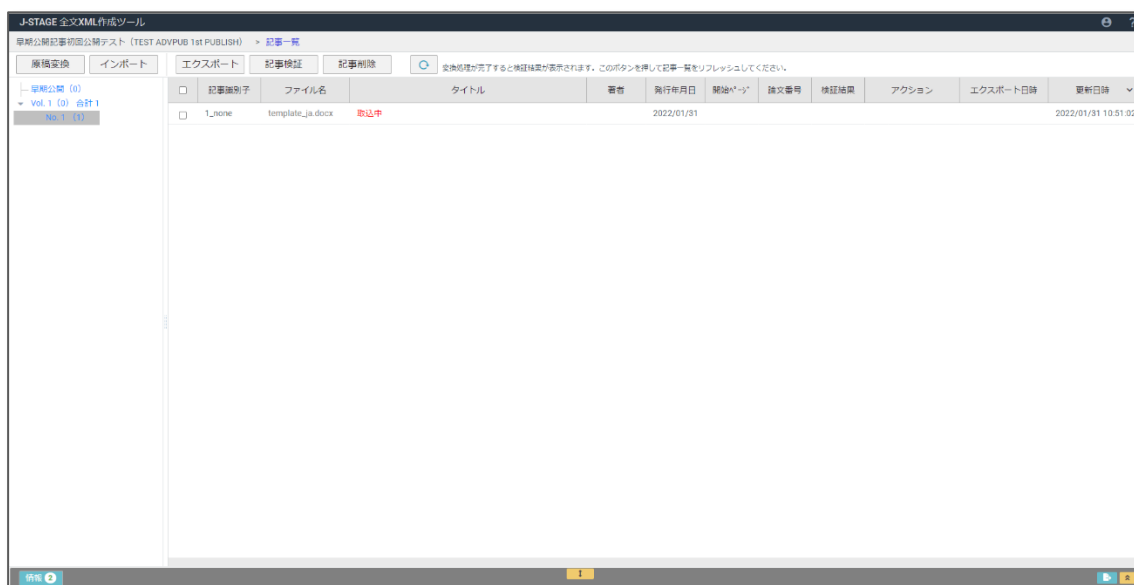
ライセンス		
		
1	タイプ	<p>ライセンスの種別を以下から選択します。</p> <p>指定なし：ライセンスを設定しない場合</p> <p>open-access：オープンアクセスライセンスを設定する場合</p> <p>free：オープンアクセス以外のフリーアクセスをライセンスとして設定する場合</p> <p>authentication：認証つきアクセスとして設定する場合</p>
2	ライセンスリファレンス	<p>open-access ライセンスの場合、CC ライセンス 6 種から 1 種選択します。</p> <p>選択すると、ライセンス記述、オープンアクセス規定、ライセンス URL にデフォルトの値が入力補完されます。また「英語表示」をチェックすると、入力補完される値が英語になります。</p>
3	ライセンス記述	適用するライセンスの内容を設定します。
4	オープンアクセス規定	適用するライセンスのオープンアクセス規定を設定します。
5	ライセンス URL	適用するライセンスの外部サイトの URL を設定します。
6	資料情報から取得	<p>資料情報に設定されているライセンス情報をロードし、入力欄に補完します。</p> <p>資料情報にライセンス情報が未登録の場合、入力補完は行われません。</p>

2.2.8. 記事一覧(上部ボタン)

原稿変換を行うと、記事一覧画面へ遷移します。

変換結果については画面更新ボタンのクリックにより確認してください。

原稿変換に失敗した場合は、アクション：ログをクリックし、コンソールに出力されるメッセージを確認してください。



記事一覧画面の各項目は、以下のような役割となっています。

※画面下部のコンソールに関しては、全文 XML 編集画面と同じものとなっています。



1	エクスポート	選択ボックスで選択した記事をエクスポートします。
2	記事検証	選択ボックスで選択したの XML が J-STAGE に登載可能かを検証します。 検証した結果は「検証結果」項目に表示されます。
3	記事削除	選択ボックスで選択した記事を削除します。
4	画面更新	画面を更新します。 原稿変換を行った直後、変換を行った記事の取込結果を確認したい等の場合は、こちらのボタンを押すことで最新の取込状況を確認できます。
5	選択ボックス	記事の選択を行います。 チェックされた記事が、画面上部にある各ボタンを押下した際の対象となります。
6	記事識別子	対象の記事の記事識別子を XML で定義された値に従って表示します。
7	ファイル名	対象の記事のファイル名を表示します。
8	タイトル	対象の記事のファイル名を XML で定義された値に従って表示します。 ファイルが取込完了となっていない場合、取込状況が表示されます。
9	著者	対象の記事の著者を XML で定義された値に従って表示します。
10	発行年月日	対象の記事の発行年月日を XML で定義された値に従って表示します。

11	開始ページ	対象の記事の開始ページを XML で定義された値に従って表示します。
12	論文番号	対象の記事の論文番号を XML で定義された値に従って表示します。
13	検証結果	対象の記事の XML が J-STAGE に登載可能かを検証した結果を表示します。
14	アクション： ログ	原稿変換、インポート、記事検証で発生したメッセージをコンソールに出力します
15	アクション： 全文 HTML プレ ビュー	対象の記事の XML が公開画面でどのように見えるかをプレビュー表示します。
16	アクション： 全文テキストダウ ンロード	対象の記事の全文テキストデータをダウンロードします。
17	アクション： 原稿ダウンロード	対象の記事の原稿変換時の原稿ファイルをダウンロードします。
18	エクスポート日時	対象の記事を最後にエクスポートした日時を表示します。
19	更新日時	対象の記事を最後に更新した日時を表示します。

XML 修正

記事一覧画面でファイル名をクリックすると、画面左に記事編集メニューが表示されます。

原稿変換機能によって変換した全文 XML を修正します。

下図のメニューで示す機能を利用します。

XML 修正機能で利用可能な代表的な機能を下表で示します。



表：XML 修正で利用可能な代表的な機能

機能名	説明
書誌事項編集	
XML 編集機能	XML を GUI を使用して各要素ごとに編集します。
入力チェック	入力した各要素の値を XML に変換した際に J-STAGE に登載可能かを検証します。要修正箇所がある場合は、対応する画面項目がハイライトされたり、画面上部にメッセージが表示されます。
プレビュー	編集中の XML が公開画面でどのように見えるかをプレビュー表示します。
保存	編集中の XML をサーバに保存します。
文字実態参照特殊文字リスト	別ウィンドウ（別タブ）で文字対応表を起動します。
本文画像・動画	
ファイル追加	画像や動画を追加します。
検証	登録した画像・動画が編集中の XML に紐づいているか等を検証します。要修正箇所がある場合は、画面下部にメッセージと行番号が表示されます。
ファイル名変更	追加した画像や動画のファイル名を変更します。
ファイル削除	追加した画像や動画のファイルを削除します。
電子付録	
ファイル追加	画像や動画を追加します。
検証	登録した電子付録が編集中の XML に紐づいているか等を検証します。要修正箇所がある場合は、画面下部にメッセージと行番号が表示されます。
ファイル名変更	追加した画像や動画のファイル名を変更します。
ファイル削除	追加した画像や動画のファイルを削除します。
全文 PDF	
ダウンロード	登録されている PDF をダウンロードします。
アップロード	PDF ファイルをアップロードします
Word 変換	Word ファイルを PDF に変換して登録します。
削除	登録されている PDF を削除します。
全文テキスト	
エディタ	全文テキストを WEB 上で修正します。
保存	全文テキストをサーバに保存します。
削除	全文テキストを削除します。
全文 XML 編集	
XML エディタ	原稿変換した XML を WEB 上で編集します。 JATS 1.1 に対応したコード補完機能やショートカット機能が利用できます。
XML 整形	編集中の XML を可読しやすいように整形することができます。
XML 検証	編集中の XML が J-STAGE に登載可能かを検証します。要修正箇所がある場合は、XML の該当箇所に要修正マークが表示され、また、画面下部にメッセージと行番号が表示されます。
プレビュー	編集中の XML が公開画面でどのように見えるかをプレビュー表示します。

タグ変換	XML エディタで範囲選択した文字列を JATS1.1 形式のタグに変換します。
保存	編集中の XML をサーバに保存します。

2.3.1. 書誌事項編集（全体）

書誌事項編集（全体）		
1	PDF プレビュー表示エリア	登録している全文 PDF をプレビュー表示します。 表示エリアは、エリア中央にある「<」 「>」マークを押下することで開閉できます。
2	編集エリア	XML を GUI を使用して各要素ごとに編集します。 ※修飾タグは、XML タグで入力してください。 例) 太字は、<bold>～</bold>と入力します。
3	コンソール	保存した結果や入力チェックした結果を表示します。 行番号を押下すると、XML エディタの該当箇所に遷移します。
4	入力チェック	入力した各要素の値を XML に変換した際に J-STAGE に登載可能かを検証します。要修正箇所がある場合は、対応する画面項目がハイライトされたり、画面上部にメッセージが表示されます。
5	プレビュー	編集中の XML が公開画面でどのように見えるかをプレビュー表示します。
6	保存	編集中の XML をサーバに保存します。
7	文字修飾タグ/ 実体参照文字一覧	別ウィンドウ（別タブ）で文字対応表を起動します。

2.3.2. 書誌事項編集-基本情報タブ:記事

書誌事項編集-基本情報タブ:記事		
1	記事記述言語	記事の記述言語を英語、日本語、その他から選択します。 日本語と英語以外の場合はその他を選択してください。
2	記事種別	記事の記事種別を設定します。 セレクトメニューから選択してください。テキストで入力する場合は、「原稿種別を直接編集する」にチェックをつけてください。入力欄が活性化しますので、入力欄にテキストで記事種別を入力をしてください。

2.3.3. 書誌事項編集-基本情報タブ:標題


書式編集タブの上部のツールバーから太字や斜体字などの書式を適用できます。適用すると該当の修飾が画面上に反映されます。XML 編集タブに移動すると適用した書式が XML 形式で適用されていることが確認できます。書式編集機能の詳細は、別紙「[書式編集機能詳細](#)」を参照してください。

書誌事項編集-基本情報タブ-書式編集タブ:標題		
1	太字	選択した文字に太字を適用します。
2	斜体字	選択した文字に斜体字を適用します。
3	上付文字	選択した文字に上付文字を適用します。
4	下付文字	選択した文字に下付文字を適用します。
5	標題(英)	記事の英語の表題を設定します。

6	標題(日)	記事の日本語の表題を設定します。
7	副標題(英)	記事の英語の副表題を設定します。
8	副標題(日)	記事の日本語の副表題を設定します。

書誌事項編集-基本情報タブ: 標題		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 標題(書式編集) 標題(XML編集) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 5px;"> <p>標題</p> <p>標題(英) 必須 ? <input type="text"/></p> <p>標題(日) 必須 ? <input type="text" value="<bold>J-STAGE</bold>について"/></p> <p>副標題(英) ? <input type="text"/></p> <p>副標題(日) ? <input type="text" value="日本の学術論文を探す"/></p> </div>		
1	標題(英)	記事の英語の表題を設定します。
2	標題(日)	記事の日本語の表題を設定します。
3	副標題(英)	記事の英語の副表題を設定します。
4	副標題(日)	記事の日本語の副表題を設定します。

2.3.4. 書誌事項編集-基本情報タブ:ページ

書誌事項編集-基本情報タブ:ページ		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ページ</p> <p>開始ページ 必須 ? <input type="text"/> 連番 <input type="text"/></p> <p>終了ページ ? <input type="text"/></p> <p>論文番号 必須 ? <input type="text"/></p> <p>査読有無 ? <input checked="" type="radio"/> 査読あり <input type="radio"/> 査読なし</p> <p>最終査読日 ? <input type="text"/> </p> </div>		
1	開始ページ	記事の開始ページを設定します。
2	連番	記事の連番を設定します。
3	終了ページ	記事の終了ページを設定します。
4	論文番号	記事の会議論文・要旨集以外有的时候に表示されます。 論文番号を設定します。
5	査読有無	記事の査読有無を設定します。
6	最終査読日	記事の最終査読日を設定します。 査読有無が「査読あり」の時のみ表示されます

2.3.5. 書誌事項編集-基本情報タブ:日付

書誌事項編集-基本情報タブ:日付		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>日付</p> <p>発行日 <small>必須</small> <small>?</small> <input type="text" value="2022/01/31"/> <small>📅</small> または 発行年 <small>必須</small> <small>?</small> <input type="text"/> <small>📅</small></p> <p>オンライン公開日 <small>?</small> <input type="text"/> <small>📅</small></p> <p>受付日 <small>?</small> <input type="text"/> <small>📅</small></p> <p>改訂稿受付日 <small>?</small> <input type="text"/> <small>📅</small></p> <p>受理日 <small>?</small> <input type="text"/> <small>📅</small></p> </div>		
1	発行日	記事の発行年月日を設定します。 発行年月日まで設定したい場合はこちらを入力してください。
2	発行年	記事の発行年を設定します。 発行した年のみ設定したい場合はこちらを入力してください。
3	オンライン公開日	記事のオンライン公開日を設定します。
4	受付日	記事の受付日を設定します。
5	改訂稿受付日	記事の改訂稿受付日を設定します。
6	受理日	記事の受理日を設定します。

2.3.6. 書誌事項編集-基本情報タブ:抄録

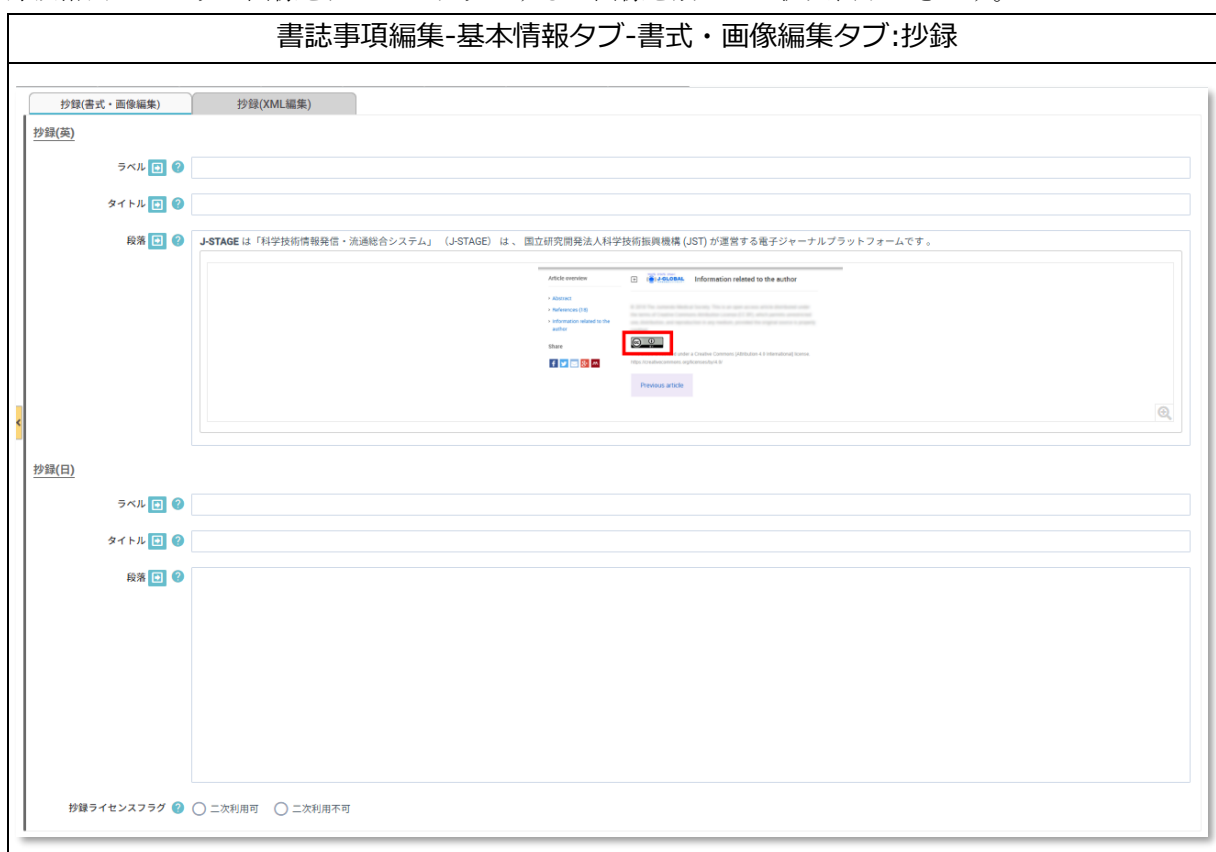
書式・画像編集タブの上部のツールバーから太字や斜体字などの書式を適用できます。適用すると該当の修飾が画面上に反映されます。XML 編集タブに移動すると適用した書式の XML 形式が適用されていることが確認できます。(抄録段落では、各行が<p>タグに変換されます。)

抄録段落では、<p>タグ内の文字のみ書式編集を行うことができます。数式、表、リスト、画像などの要素は編集不可要素として表示され、これらには書式編集を適用することができません。

編集不可要素については、移動および削除は可能ですが、内容を編集することはできません。これらの要素に書式を適用したい場合や、内容を編集したい場合には、XML 編集タブから直接記載する必要があります。書式編集機能の詳細は、別紙「[書式編集機能詳細](#)」を参照してください。

外字追加ボタンを押すと外字追加モーダルが表示され、入力欄に外字が追加できます。同様に画像追加ボタンを押すと画像追加モーダルが表示され、入力欄に画像が追加できます。

抄録段落内のブロック画像をダブルクリックすると画像を別タブで拡大表示できます。



1	太字	選択した文字に太字を適用します。
2	斜体字	選択した文字に斜体字を適用します。
3	下線	選択した文字に下線を適用します。
4	オーバーライン	選択した文字にオーバーラインを適用します。
5	抹消線	選択した文字に抹消線を適用します。
6	小英大文字	選択した文字に小英大文字を適用します。

7	フォントスタイル	選択した文字にフォントスタイルを適用します。
8	上付文字	選択した文字に上付文字を適用します。
9	下付文字	選択した文字に下付文字を適用します。
10	外字追加	外字追加画面をモーダル表示します。
11	画像追加	画像追加画面をモーダル表示します。
12	抄録(英)ラベル	記事の英語の抄録ラベルを設定します。
13	抄録(英)タイトル	記事の英語の抄録タイトルを設定します。
14	抄録(英)段落	記事の英語の抄録段落を設定します。
15	抄録(日)ラベル	記事の日本語の抄録ラベルを設定します。
16	抄録(日)タイトル	記事の日本語の抄録タイトルを設定します。
17	抄録(日)段落	記事の日本語の抄録段落を設定します。
18	抄録(日)ライセンスフラグ	記事の抄録ライセンスフラグを設定します。

書誌事項編集-基本情報タブ-書式編集タブ:抄録

抄録(書式・画像編集)
抄録(XML編集)

抄録(英)

ラベル

タイトル

段落

抄録(日)

ラベル

タイトル

段落

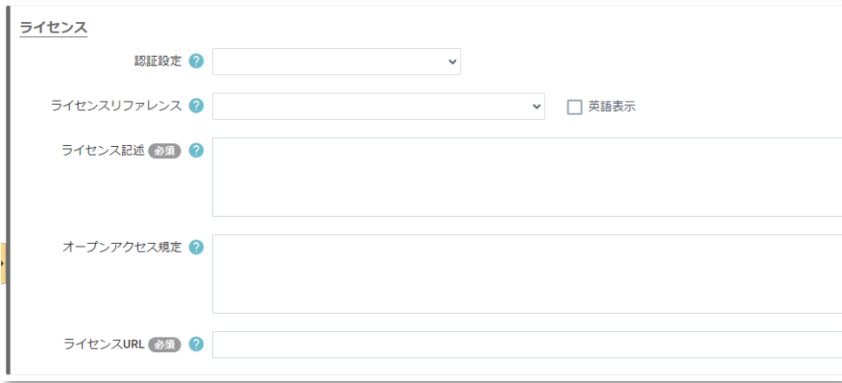
抄録ライセンスフラグ 二次利用可 二次利用不可

1	抄録(英)ラベル	記事の英語の抄録ラベルを設定します。
2	抄録(英)タイトル	記事の英語の抄録タイトルを設定します。
3	抄録(英)段落	記事の英語の抄録段落を設定します。
4	抄録(日)ラベル	記事の日本語の抄録ラベルを設定します。
5	抄録(日)タイトル	記事の日本語の抄録タイトルを設定します。
6	抄録(日)段落	記事の日本語の抄録段落を設定します。
7	抄録(日)ライセンスフラグ	記事の抄録ライセンスフラグを設定します。

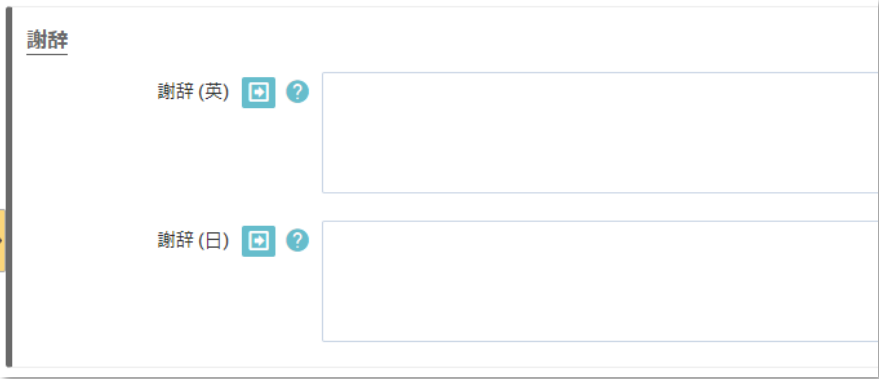
2.3.7. 書誌事項編集-基本情報タブ:著作権

書誌事項編集-基本情報タブ:著作権		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>著作権</p> <p>著作権表示 (英) ? <input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/></p> <p>著作権表示 (日) ? <input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/></p> </div>		
1	著作権表示 (英)	記事の英語の著作権情報を設定します。
2	著作権表示 (日)	記事の日本語の著作権情報を設定します。

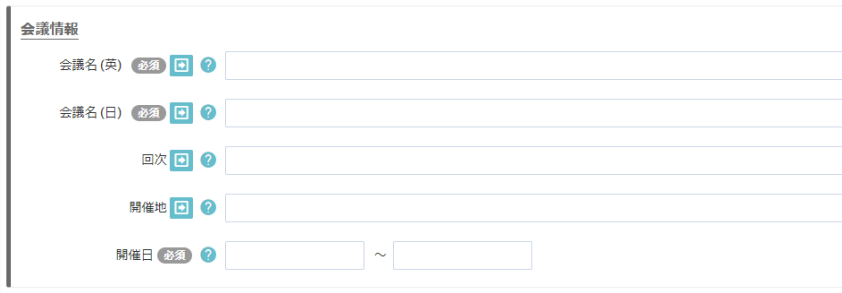
2.3.8. 書誌事項編集-基本情報タブ:ライセンス

書誌事項編集-基本情報タブ:ライセンス		
		
1	認証設定	<p>ライセンスの種別を以下から選択します。</p> <p>指定なし：ライセンスを設定しない場合</p> <p>open-access：オープンアクセスライセンスを設定する場合</p> <p>free：オープンアクセス以外のフリーアクセスをライセンスとして設定する場合</p> <p>authentication：認証つきアクセスとして設定する場合</p>
2	ライセンスリファレンス	<p>open-access ライセンスの場合、CC ライセンス 6 種から 1 種選択します。</p> <p>選択すると、ライセンス記述、オープンアクセス規定、ライセンス URL にデフォルトの値が入力補完されます。また「英語表示」をチェックすると、入力補完される値が英語になります。</p>
3	ライセンス記述	<p>適用するライセンスの内容を設定します。</p>
4	オープンアクセス規定	<p>適用するライセンスのオープンアクセス規定を設定します。</p>
5	ライセンス URL	<p>適用するライセンスの外部サイトの URL を設定します。</p>

2.3.9. 書誌事項編集-基本情報タブ:謝辞

書誌事項編集-基本情報タブ:謝辞		
		
1	謝辞(英)	記事の英語の謝辞を設定します。
2	謝辞(日)	記事の日本語の謝辞を設定します。

2.3.10. 書誌事項編集-基本情報タブ:会議情報

書誌事項編集-基本情報タブ:会議情報		
		
1	会議名(英)	記事が発表された会議の英語の名称を設定します。
2	会議名(日)	記事が発表された会議の日本語の名称を設定します。
3	回次	開催された会議の開催・発表・実施順序を設定します。
4	開催地	記事が発表された会議の開催地を設定します。
5	開催日	記事が発表された会議の開催日を設定します。

2.3.11. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者

書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者		
		
1	追加	著者テーブルにレコードを追加します。
2	削除	チェックボックスが入力されている著者を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、著者の順序を変更できます。
5	No.	著者の並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	著者所属モーダルを起動します。
7	著者名(英)・姓	著者の姓(英語)を設定します。 この項目は著者所属モーダルで入力できます。
8	著者名(英)・名	著者の名(英語)を設定します。 この項目は著者所属モーダルで入力できます。
9	著者名(日)・姓	著者の姓(日本語)を設定します。 この項目は著者所属モーダルで入力できます。
10	著者名(日)・名	著者の名(日本語)を設定します。 この項目は著者所属モーダルで入力できます。
11	所属編集	対象の著者が所属する機関を選択するモーダルを起動します。

2.3.12. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者所属モーダル


書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者所属モーダル		
1	著者区分	著者区分を設定します。
2	著者種別	著者の種別を設定します。
3	著者名(英)・ 姓、名	著者の氏名(英語)を設定します。 中央の⇄ボタンで、姓と名を入れ替えることができます。
4	著者名(日)・ 姓、名	著者の氏名(日本語)を設定します。 中央の⇄ボタンで、姓と名を入れ替えることができます。
5	著者名(ふりが な)・姓、名	著者の氏名(ふりがな)を設定します。 中央の⇄ボタンで、姓と名を入れ替えることができます。
6	筆頭/最終著者	著者が筆頭著者または最終著者の場合設定します。
7	連絡著者	著者が連絡著者の場合設定します。
8	E-Mail	著者の E-mail アドレスを設定します。
9	ORCID ID	著者の ORCID ID を設定します。

10	ORCID 認証あり	投稿審査システム等で著者自身が ORCID の認証を行っている場合のみチェックしてください。
11	e-Rad 研究者番号	著者の e-Rad 研究者番号を設定します
12	国	著者の国を設定します。
13	所属機関: チェックボックス	入力した組織が、著者が所属している組織となります。
14	所属機関: No	所属機関の並びに応じて自動で採番されます。
15	所属機関: 所属機関名 (英)	所属機関の名称(英語)を表示します。 この項目は著者・所属機関タブの所属テーブルで入力できます。
16	所属機関: 所属機関名 (日)	所属機関の名称(日本語)を表示します。 この項目は著者・所属機関タブの所属テーブルで入力できます。
17	所属機関: 国	所属機関の国を表示します。 この項目は著者・所属機関タブの所属テーブルで入力できます。

2.3.13. 書誌事項編集-著者・所属機関タブ:所属機関

書誌事項編集-著者・所属機関タブ:所属機関		
		
1	追加	所属機関テーブルにレコードを追加します。
2	削除	チェックボックスが入力されている所属機関を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、著者の順序を変更できます。
5	No.	著者の並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	著者所属モーダルを起動します。
7	所属機関名(英)	所属機関の名称(英語)を設定します。
8	所属機関名(日)	所属機関の名称(日本語)を設定します。
9	E-Mail	所属機関の E-mail アドレスを設定します。
10	国	所属機関の国を設定します。

2.3.14. 書誌事項編集-キーワードタブ:キーワード

書誌事項編集-キーワードタブ:キーワード		
		
1	追加	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルにレコードを追加します。
2	削除	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルでチェックボックスが入力されている著者を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、引用文献の順序を変更できます。
5	No.	著者の並びに応じて自動で採番されます。
6	キーワード(英)	英語のキーワードを設定します。
7	キーワード(日)	日本語のキーワードを設定します。

2.3.15. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献

書誌事項編集-著者・所属機関タブ:引用文献

入力チェック プレビュー 保存

文字実体参照特殊文字リスト

引用文献 +

追加 削除

	No.	編集	文献番号	引用文献区分	記述言語	引用文献の原文
<input type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	1)	雑誌論文	日本語	<person-group person-group-type="author"> <string-name name-style="eastern" xml:lang="ja"><surname>科学</surname> <given-names>太郎</given-names></string-name> <string-na...
<input type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	2)	雑誌論文	日本語	<person-group person-group-type="author"> <string-name name-style="eastern" xml:lang="ja"><surname>科学</surname> <given-names>太郎</given-names></string-na...

1	追加	引用文献テーブルにレコードを追加します。
2	削除	チェックボックスが入力されている引用文献を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、引用文献の順序を変更できます。
5	No.	引用文献の並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	引用文献モーダルを起動します。
7	文献番号	文献番号を表示します。 この項目は引用文献モーダルで入力できます。
8	引用文献区分	引用する文献の区分を表示します。 この項目は引用文献モーダルで入力できます。
9	記述言語	引用する文献の記述言語を表示します。 この項目は引用文献モーダルで入力できます。
10	引用文献の原文	引用する文献の原文を表示します。 この項目は引用文献モーダルで入力できます。

2.3.16. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献モーダル

書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献モーダル

引用文献

文献番号

引用文献区分 ?


記述言語 ?
 英語 日本語 その他

引用文献の原文 ?

```
<person-group person-group-type="author"> <string-name name-style="eastern" xml:lang="ja"><surname>科学
</surname> <given-names>太郎</given-names></string-name>, <string-name name-style="eastern" xml:lang="ja">
<surname>振興</surname> <given-names>次郎</given-names></string-name>, <string-name name-style="eastern"
xml:lang="ja"><surname>山田</surname> <given-names>花子</given-names></string-name> </person-group>ほか.
JATS抽出サンプル, サンプルジャーナル, <year>2020</year> Apr,1(2):<fpage>123</fpage><lpage>456</lpage>.
```

1	文献番号	文献番号を設定します。
2	引用文献区分	引用する文献の区分を設定します。
3	記述言語	引用する文献の記述言語を設定します。
4	引用文献の原文	引用する文献の原文を設定します。

2.3.17. 書誌事項編集-ファンド情報タブ:ファンド情報

書誌事項編集-ファンド情報タブ:ファンド情報		
		
1	追加	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルにレコードを追加します。
2	削除	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルでチェックボックスが入力されている著者を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、引用文献の順序を変更できます。
5	No.	著者の並びに応じて自動で採番されます。
6	キーワード(英)	英語のキーワードを設定します。
7	キーワード(日)	日本語のキーワードを設定します。

2.3.18. 書誌事項編集-関連文献タブ:関連文献

書誌事項編集-関連文献タブ:関連文献		
		
1	追加	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルにレコードを追加します。
2	削除	キーワード(日),(英)それぞれのテーブルでチェックボックスが入力されている著者を削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、引用文献の順序を変更できます。
5	No.	著者の並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	関連文献モーダルを起動します。
7	関連文献区分	関連文献の区分を表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。
8	記述言語	関連文献の記述言語を表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。
9	関連文献タイトル	関連文献のタイトルを表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。
10	外部リンク	関連文献の外部リンクを表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。
11	doi/uri	関連文献の doi/uri を表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。

2.3.19. 書誌事項編集-引用文献タブ:引用文献モーダル

書誌事項編集-著者・所属機関タブ:著者所属モーダル		
		
1	関連文献区分	関連文献の区分を設定します。
2	記述言語	関連文献の記述言語を表示します。
3	関連文献タイトル	関連文献のタイトルを表示します。
4	外部リンク	関連文献の外部リンクを表示します。
5	doi/uri	関連文献の doi/uri を表示します。

2.3.20. 書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリ


書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリ		
1	追加	データリポジトリテーブルにレコードを追加します。
2	削除	データリポジトリテーブルでチェックボックスが入力されているデータを削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、データリポジトリの順序を変更できます。
5	No.	データリポジトリの並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	データリポジトリモーダルを起動します。
7	リポジトリ区分	データリポジトリ先を表示します。 この項目はデータリポジトリモーダルで入力できます。
8	タイトル	データリポジトリのタイトルを表示します。 この項目はデータリポジトリモーダルで入力できます。
9	Data Availability Statement	データリポジトリの Data Availability Statement を表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。

2.3.21. 書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリモーダル


書誌事項編集-データリポジトリタブ:データリポジトリモーダル		
		
1	リポジトリ区分	データリポジトリ先を設定します。
2	タイトル	データリポジトリのタイトルを表示します。
3	Data Availability Statement	データリポジトリの Data Availability Statement を表示します。 この項目は関連文献モーダルで入力できます。
4	外部リンク	関連文献の外部リンクを表示します。
5	doi/uri	関連文献の doi/uri を表示します。
6	追加	記事関連データテーブルにレコードを追加します。
7	削除	記事関連データテーブルでチェックボックスが入力されているデータを削除します。
8	チェックボックス	削除対象を選択します。
9	並び替え	この項目をドラッグすると、記事関連データの順序を変更できます。
10	No.	記事関連データの並びに応じて自動で採番されます。
11	データ説明	記事関連データの説明を設定します。
12	記述言語	記事関連データの記述言語を設定します。
13	データタイプ	記事関連データのデータタイプを設定します。

2.3.22. 書誌事項編集-成果情報タブ:成果情報

成果情報タブは、資料種別が「会議論文・要旨集」の記事のみ表示されます。

書誌事項編集-成果情報タブ: 成果情報		
		
1	追加	成果情報テーブルにレコードを追加します。
2	削除	成果情報テーブルでチェックボックスが入力されているデータを削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、成果情報の順序を変更できます。
5	No.	成果情報の並びに応じて自動で採番されます。
6	編集	成果情報モーダルを起動します。
7	記述言語	記述言語を表示します。 この項目は成果情報モーダルで入力できます。
8	成果内容	成果内容を表示します。 この項目は成果情報モーダルで入力できます。

2.3.23. 書誌事項編集-成果情報タブ:成果情報モーダル

書誌事項編集-成果情報タブ:成果情報モーダル		
		
1	記述言語	記述言語を設定します。
2	成果内容	成果内容を表示します。

2.3.24. 書誌事項編集-電子付録タブ:電子付録

書誌事項編集-電子付録タブ:電子付録		
1	追加	電子付録テーブルにレコードを追加します。
2	削除	電子付録テーブルでチェックボックスが入力されているデータを削除します。
3	チェックボックス	削除対象を選択します。
4	並び替え	この項目をドラッグすると、電子付録の順序を変更できます。
5	No.	電子付録の並びに応じて自動で採番されます。
6	ファイル名	電子付録のファイル名を設定します。
7	タイトル(英)	電子付録の英語タイトルを設定します。
8	タイトル(日)	電子付録の日本語タイトルを設定します。
9	説明(英)	電子付録の英語説明を設定します。
10	説明(日)	電子付録の日本語説明を設定します。

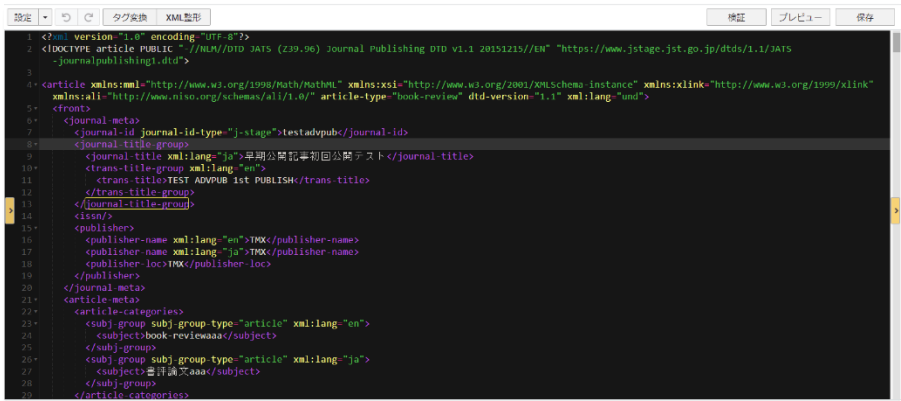
2.3.25. XML 編集 (全体)

XML 編集 (全体)

1	XML エディタ	原稿変換した XML を書き換え可能なエディタに表示します。
2	コンソール	原稿変換した結果や XML 検証した結果を表示します。 行番号を押下すると、XML エディタの該当箇所に遷移します。
3	ナビ	登録済の画像、動画をリスト表示します。タブを切り替えることで、本文用の画像・動画と電子付録用の画像・動画を切り替えます。
4	PDF プレビュー 表示エリア	登録している全文 PDF をプレビュー表示します。 表示エリアは、エリア中央にある「<」「>」マークを押下することで開閉できます。

2.3.26. XML エディタ

XML エディタ



1 設定

設定 ▼

XML エディタに関する設定を行います。

設定ボタン押下で XML エディタの設定画面がダイアログ表示されます。

▼ボタン押下でマニュアル参照、XML エディタのチュートリアルが開始できます。

XML エディタの設定画面は、以下となります。

XMLエディタ設定

プレビュー起動時の言語 記事記述言語 英語 日本語

テーマ chaos ▼

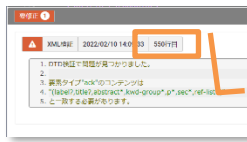

フォントサイズ 18px ▼


エディタ操作説明 マニュアル

閉じる

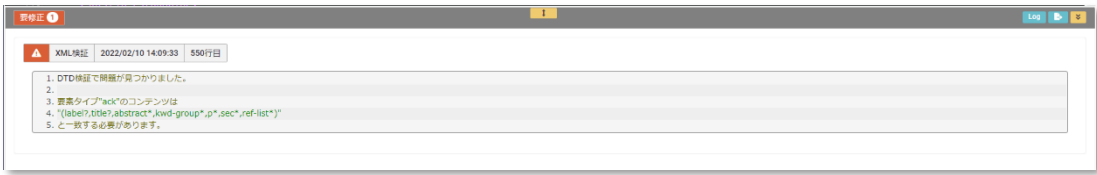



項目	説明
プレビュー時の起動言語	プレビューボタン押下時の初期選択言語を選びます。記事記述言語とした場合は、article タグの lang 属性で指定の言語でプレビュー画面を開きます。 なお、プレビュー画面の言語はプレビュー画面でも切替可能です。
テーマ	XML エディタのテーマ（外観）を変更します。必要に応じて、お好みのテーマ（外観）に変更してください。
フォントサイズ	XML エディタのフォントサイズを変更します。
マニュアル	WEB のマニュアルを別ウィンドウ（別タブ）で起動します。

59

3	<p>整形</p> <p>XML整形</p>	<p>XML エディタの内容を整形（フォーマット）します。</p> <p>（可視性が高くなるように、自動で XML を整形します。）</p> <p>※J-STAGE の公開系画面の仕様上、文章中の改行コードは、「空白」に変換されます。整形によって、意図しない位置に改行が入る可能性がありますので、プレビュー機能で公開された場合の表示を確認するようにお願いします。</p>
4	<p>XML 検証</p> <p>検証</p>	<p>XML エディタの内容を検証します。</p> <p>検証は、以下の 3 段階で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 0. J-STAGE の掲載形式で JATS XML の宣言がされているか。 1. J-STAGE の JATS 1.1 形式の DTD 仕様に準拠するか。 2. J-STAGE に掲載できるタグ設定となっているか。 <p>検証結果は、画面下部の「コンソールエリア」に表示されます。コンソールエリアに表示されるメッセージのうち、要修正箇所が特定できる場合は、行番号を押下頂くことで、該当箇所に遷移します。</p> <p>下図にコンソールエリア表示された XML 検証結果を示します。</p>  <p>検証結果のメッセージとともに、行番号が特定できる場合は、該当行を表示します。行番号ボタンを押下すると、該当行にエディタがスクロールされます。</p>
5	<p>プレビュー</p>	<p>XML エディタの内容を全文 HTML に変換し、プレビュー表示します。</p> <p>プレビュー画面は別ウィンドウ（別タブ）で起動します。</p> 

		<p>プレビューには、以下の制限があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> XML のデータでプレビュー表示を行います。 実際に登載する場合は、画面等から登録した情報を用いる場合があり、表示内容が異なるケースがあります。 ページ内で遷移するリンクは押下可能ですが、ページ外のリンクは有効化されません。(J-STAGE 登載後に有効化されます。) 電子付録のダウンロードリンクは利用できません。 図表の数は、XML に定義されている図表の数を数えて表示しています。実際に J-STAGE に登載された場合の数とは異なる可能性があります。 XML の記載量や関連リンクの量によっては、時間がかかる場合があります。Loading が表示された状態でしばらくお待ちください。
6		<p>XML エディタの内容をサーバに保存します。なお保存期間については「1.3.3 情報の保持単位・期間」を参照願います。</p>




2.3.27. コンソール

コンソール		
		
1	可動バー 	上下にドラックすることで、コンソールエリアの表示領域を変更できます。
2	TSV 出力 	コンソールエリアに表示されている内容を TSV 形式でダウンロードします。
3	開く / 閉じる 	コンソールエリアを開閉します。
4	メッセージ 件数	メッセージの有無と件数をレベル（情報、要確認、要修正）別に表示します。 
5	タイトル	レベル（情報、要確認、要修正）、該当行番号、発生時刻を表示します。 該当行番号は、要修正、要確認箇所が特定できる場合のみ表示され、ボタン押下で該当行へジャンプすることが可能です。 
6	メッセージ	メッセージ内容を表示します。 

2.3.28. ナビ



XML 編集エリアに表示されるナビエリアは、本文画像・動画、電子付録メニューで管理されている画像や動画ファイルを編集中の XML にタグ挿入する便利機能です。画像や動画の追加自体は、「本文画像・動画」、「電子付録」メニューから実施してください。

1	画像タグ 	XML エディタのカーソル位置に当該画像・動画のタグ(fig)を挿入します。
2	外字タグ 	XML エディタのカーソル位置に当該画像のタグ(inline-graphics)を挿入します。画像ファイル(gif、jpg、png)の場合に表示されます。動画ファイル(mp4)の場合は表示されません。
3	XML タグ 	該当画像の XML タグをモーダル画面に表示します。モーダル画面下部のコピーボタンを押すと、表示中の XML をコピーできます。

		
4	XML タグ (全量)	<p>登録されている電子付録ファイルの XML タグをすべて連結して表示します。</p> 
	<p>ファイルタグ</p> 	XML エディタのカーソル位置に当該電子付録のタグを挿入します。
	<p>XML タグ (個別)</p> 	対象の電子付録ファイルの XML タグを表示します。

2.3.29. 本文動画・画像、電子付録

本文画像・動画












本文に添付する画像・動画を管理します。

原稿変換機能で取り込まれたファイルが一覧で表示されますが、「追加」ボタンからファイルを追加することも可能です。(削除も可)

本文画像・動画に追加可能なファイルは、gif、jpg、png、mp4 のいずれかです。

電子付録に追加可能なファイルは、以下を参照してください。

[J-STAGE 操作マニュアル 編集登載編 別紙 5 \(電子付録ファイル種別\)](#)

1	ファイル名	ファイル名を表示します。任意のファイル名に変更可能です。								
2	保存	ファイル名を入力値で更新します。								
3	表示領域	画像、動画を表示します。 動画の場合は、再生プレイヤーが表示されます。								
4	削除	該当ファイルを削除します。								
5	検証	登録されている画像・動画ファイルが XML とリンクされているかをチェックします。 チェックの結果は、以下のアイコンファイルで表示されます。								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>アイコン</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>チェック前のアイコン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>XML とリンクされている場合のアイコン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>XML とリンクされていない場合のアイコン</td> </tr> </tbody> </table>	アイコン	説明		チェック前のアイコン		XML とリンクされている場合のアイコン		XML とリンクされていない場合のアイコン
アイコン	説明									
	チェック前のアイコン									
	XML とリンクされている場合のアイコン									
	XML とリンクされていない場合のアイコン									
6	追加	ファイル追加のダイアログを表示します。 下図のダイアログが表示されますので、追加するファイルを指定してください。								

指定したファイル名を取り込みますが、別名で取り込みたい場合は、ファイル名欄に別のファイル名を入力してください。

メディア追加

追加ファイル ファイルが選択されていません

※アップロード可能なファイル形式はjpg, gif, png, mp4です。

ファイル名

※省略すると追加ファイルのファイル名で登録します。

2.3.30. 外字追加

外字追加

新規登録

新規に外字を登録する場合は外字ファイルを入力してアップロードボタンを押下してください。
※登録する外字の画像サイズは文字サイズ程度を推奨します。
 ※登録した外字ファイルは同一資料の他のアカウントと共有されます。

外字ファイル **必須** ファイルを選択 選択されていません
※アップロード可能なファイル形式はjpg, gif, pngです。

ファイル名
※省略すると追加ファイルのファイル名で登録します。

アップロード

登録済外字

画面に挿入する外字を選択してください。
※登録内のインライン画像はファイル名を「abst-」から始める必要があるため、「abst-」ではないファイル名の場合は自動で「abst-」が付与されます。

削除

M

ext_char_m.png

X

ext_char_x.png

選択
キャンセル

本画面では、入力欄に外字を追加できます。

登録された外字一覧から外字を1つ選択して入力欄に追加します。

また、アップロードボタンから新規に外字を登録することもできます。

登録した外字は当該資料アカウントのすべてのユーザーで共有します。

1	外字ファイル	エクスプローラーからファイルをアップロードします。
2	ファイル名	入力したファイル名で外字を登録します。 ※未入力の場合はアップロードしたファイル名で登録します。
3	アップロード	外字を登録します。 ※アップロード可能なファイルは、gif、jpg、pngのいずれかです。
4	削除	選択した外字を削除します。 ※削除した場合は、当該資料アカウントのすべてのユーザーから削除されますので、ご注意ください。
5	選択	選択した外字を入力欄に追加します。 ※追加時には自動的に本文画像・動画一覧にも登録されます。
6	キャンセル	外字追加画面を閉じます。

2.3.31. 画像追加

画像追加

新規登録

新規に画像を登録する場合は画像ファイルを入力してアップロードボタンを押下してください。

画像ファイル **必須** ファイルを選択 選択されていません。
*アップロード可能なファイル形式はjpg, gif, pngです。

ファイル名 ファイル名(半角英数字記号)
*省略すると追加ファイルのファイル名で登録します。

アップロード

登録済画像

画像種別とその説明 (画像ID、図標題、図のキャプションタイトル、段落) を入力し、挿入する画像を選択してください。

B I U A ab Aa スタイルなし x² x₂

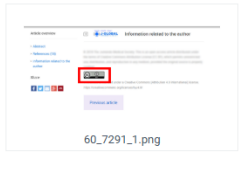
画像種別 **必須** ブロック画像 インライン画像

画像ID **必須** X15

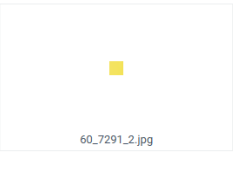
図標題 図1

図のキャプションタイトル 例) サンプル画像

段落 例) これはサンプルの画像です。



60_7291_1.png



60_7291_2.jpg

選択
キャンセル

本画面では、入力欄に画像を追加できます。対象画像が一覧にない場合にはアップロードボタンから追加できます。


画像種別(ブロック画像/インライン画像)を指定し、登録された画像一覧から画像を1つ選択して入力欄に追加します。ブロック画像の場合には、画像ID、図標題、図のキャプションタイトル、段落が入力できます。図標題、図のキャプションタイトル、段落には上部のツールバーから太字や斜体字などの書式を適用できます。適用すると該当の修飾が画面上に反映されます。



書式編集機能の詳細は、別紙「[書式編集機能詳細](#)」を参照してください。

1	太字	選択した文字に太字を適用します。
2	斜体字	選択した文字に斜体字を適用します。
3	下線	選択した文字に下線を適用します。
4	オーバーライン	選択した文字にオーバーラインを適用します。
5	抹消線	選択した文字に抹消線を適用します。
6	小英大文字	選択した文字に小英大文字を適用します。
7	フォントスタイル	選択した文字にフォントスタイルを適用します。
8	上付文字	選択した文字に上付文字を適用します。

9	下付文字	選択した文字に下付文字を適用します。
10	画像ファイル	エクスプローラーからファイルをアップロードします。
11	ファイル名	入力したファイル名で画像を登録します。 ※未入力の場合はアップロードしたファイル名で登録します。
12	アップロード	画像を登録します。 ※アップロード可能なファイルは、gif、jpg、pngのいずれかです。
13	選択	選択した画像を入力欄に追加します。
14	キャンセル	画像追加画面を閉じます。

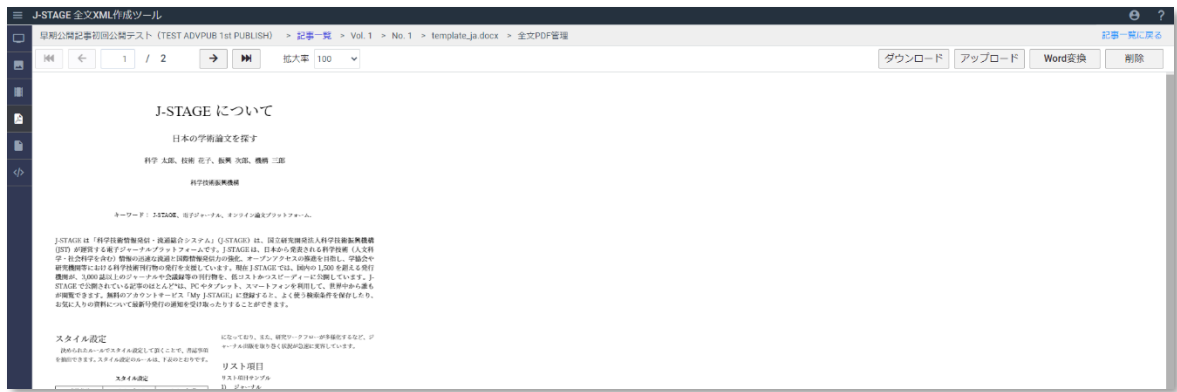
2.3.32. 補足 (PDF 切取について)


書誌事項編集機能にて、 というアイコンがある画面項目は、登録されている全文 PDF に記載されている文字を範囲選択した後アイコンを押下することで、範囲選択した文字を画面項目に代入することができます。

PDF 切取		
		
1	範囲選択	PDF プレビュー表示エリアにて、切り取りたい文字を範囲選択します。
2	PDF 切取	アイコンを押下することで、対象の画面項目に範囲選択した文字を代入します。
		

2.3.33. 補足（全文 PDF、全文テキスト登録機能について）


XML 修正後、エクスポートを行い、編集登録の一括アップロード機能を使って修正した記事をアップロードする際、全文 PDF と全文テキストが必要となりますが、それらのファイルをエクスポート前に登録することが可能です。

全文 PDF 機能		
		
1	ダウンロード	登録されている全文 PDF をダウンロードします。
2	アップロード	全文 PDF をアップロードします。 ボタン押下後に出てくるダイアログにて PDF ファイルを選択し、「アップロード」ボタンを押下することでアップロードができます。 すでに全文 PDF が登録されている場合、上書きします。
3	Word 変換	Word ファイルを全文 PDF に変換したうえでアップロードします。 ボタン押下後に出てくるダイアログにて Word ファイルを選択し、「Word 変換」ボタンを押下することで変換し、アップロードができます。 生成した PDF は原稿のフォントと異なる可能性があります。
4	削除	登録されている全文 PDF を削除します。

全文テキスト機能		
		
1	保存	全文テキスト入力エリアに入力されている内容を保存します。
2	削除	全文テキスト入力エリアに入力されている内容を削除します。
3	全文テキスト入力エリア	全文テキストの内容を入力します。

2.3.34. 補足（インポートについて）

全文 XML 作成ツールは、Word、LaTeX の原稿ファイルを全文 XML に変換して、編集するフローを想定していますが、インポート機能を利用することで、お手持ちの XML 記事や、編集登載に登載済の記事をダウンロードのうえ、取り込むことも可能です。

インポート		
		
1	ファイル選択	<p>インポートするファイルを選択してください。 J-STAGE の記事アップロード形式の zip 形式（※）を取り込み可能です。 なお、1度に取り込みできる記事は、1記事のみとなります。</p> <p>※ 取り込み可能な zip ファイルについて J-STAGE の記事アップロード形式に加え、任意の構成をとることも可能です。 ただし、以下の制約があります。</p> <p>0. XML ファイルは 1 ファイルのみで構成されている必要があります。</p> <p>1. 本文画像・動画として取得するファイルは下記拡張子となります。 Jpg、gif、png、mp4 その他拡張子ファイルが配置されていてもスキップされて取り込まれません。</p> <p>2. 電子付録を配置する場合は「Suppl」フォルダ内に配置してください。</p>
2	インポートする	Zip ファイルに含まれている XML ファイル、画像・動画、電子付録、全文テキスト、全文 PDF を取り込みます。

エクスポート

3.1.1. 編集掲載形式での出力

編集一覧画面にて、エクスポートしたい記事にチェックを付けて「エクスポート」ボタンを押下すると、エクスポート画面を開きます。

エクスポート		
1	出力形式	<p>全文形式(FULL-J/P)で出力するか、書誌形式(BIB-J/P)出力するかを指定してください。(全文形式(FULL-J/P)は body 部が出力されますが、書誌形式(BIB-J/P)では body 部が出力されません)</p> <p>(全文形式(FULL-J/P)を指定しても、有効な本文情報がない場合は、body 部が出力されません)</p>
2	リンクなし動画・画像	<p>XML に定義されていない画像・動画ファイル(電子付録含む)を出力する場合は、「出力する」を選択してください。XML に定義された画像・動画ファイル(電子付録含む)のみを出力する場合は、「出力しない」を選択してください。</p>
3	ファイル名変換	<p>XML 内の抄録、本文、電子付録に使用されているファイル名を編集掲載の命名規約に変換します。</p>
4	エクスポート後の記事削除	<p>エクスポート実行後、エクスポートした記事を記事一覧から削除するかを設定します。</p>
5	エクスポート	<p>編集中の XML、画像・動画、電子付録ファイルを J-STAGE の記事アップロード形式で ZIP ファイルとして出力します。</p> <p>※Mac Safari をご利用の場合、zip 形式ではなく、展開された形でダウンロードされることがあります。これは、Safari の設定によるものです。</p> <p>zip 形式でダウンロードを希望される場合は、Safari の設定を見直してください。</p>

登載

4.1.1. PDF および全文テキストファイルの準備

エクスポート処理で出力した ZIP ファイルを編集登載の一括アップロード機能を利用して J-STAGE に登載可能です。登載にあたっては、以下のファイルをそれぞれ全文テキスト、全文 PDF 機能にてアップロードした後、それを含めてエクスポートを処理を行ってください。

表：J-STAGE に登載するために必要なファイル

#	ファイル	説明
1	全文 PDF	記事本文の PDF ファイル
2	全文テキスト	検索用インデックス作成のためのファイルです。 全文 XML から自動抽出しますので、必須ではありません。 XML ファイルに全文を含んでいない場合は必要です。 なお、全文 XML から自動抽出する場合は、<body>タグの中身を抽出します。 <front>タグ内に記述されている書誌情報（タイトル、著者名等）は抽出対象外になりますので、ご注意ください。

4.1.2. 一括アップロード

エクスポート機能で出力した ZIP ファイルを編集登載システムの一括記事アップロード機能からアップロードしてください。

編集登載システムの一括記事アップロードについては、以下のドキュメントを参照してください。

[J-STAGE 操作マニュアル 編集登載編](#)

参考資料

- [J-STAGE XML フォーマットガイドライン（本文）](#)
- [全文 XML 作成手順書](#)
- [FULL-J XML サンプル（PDF, 全文テキスト, XML）](#)
- [FULL-P XML サンプル（PDF, 全文テキスト, XML）](#)